

兵庫県における 農業改良普及事業推進について

令和6年12月5日

兵庫県 農林水産部
農業改良課

I 兵庫県の普及指導活動体制

農業改良普及センター

県内**13か所**に、**179名**の普及指導員等を配置

表：専門項目別普及指導員数(管理・監督職を含む)

専門項目	野菜	果樹	花き	畜産	農産物活用	計
人数	58	37	29	37	18	179人

農業革新支援センター

(県立農林水産技術総合センター企画調整・経営支援部)

専門技術員(農業革新支援専門員)等を**12名**配置

<組織体制>

県民局 (10か所)

－農林(水産)振興事務所 (10か所)

－**農業改良普及センター (13か所)** (■ 8か所)

地域課

- ・認定農業者や集落営農組織等担い手の育成
- ・農村生活の改善の普及指導 等

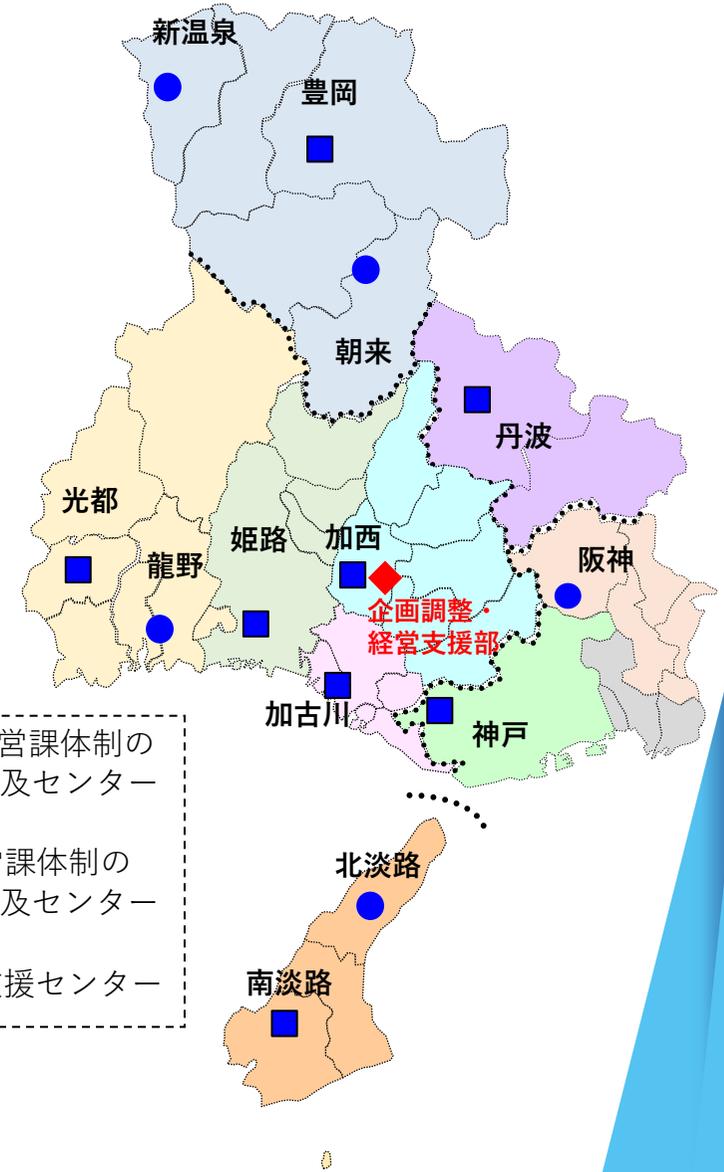
経営課

- ・高度な専門技術の普及、指導 等

(● 5か所)

地域・経営課

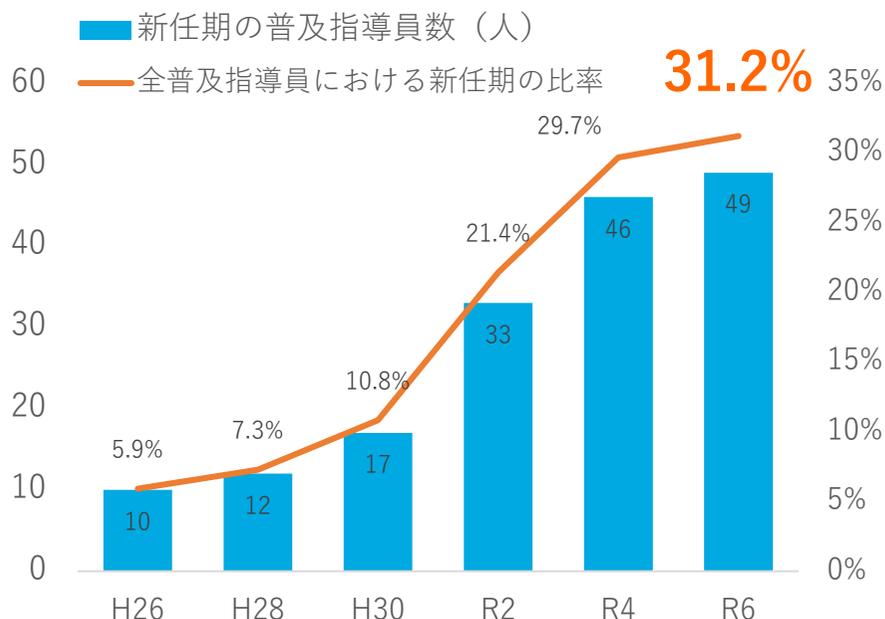
- ・地域課と経営課の業務を担う課



農業改良普及センターの位置図

II 兵庫県における農業改良普及指導員の育成状況

1 普及指導員の31.2%が新任期



図：新任期(経験年数3年未満)普及指導員数と比率

2 普及指導員の35.2%が20代

表：普及指導員の年代構成

	20代	30代	40代	50代	60代	計
人数(人)	63	20	10	57	29	179人
割合	35.2%	11.2%	5.6%	31.8%	16.2%	100.0%

3 「普及指導員育成基本計画」を策定 (R5.4)

普及経験15年目までの普及指導員を対象に **Off-JTとOJTを密接に連動**させ、普及C、企画調整・経営支援部、農業改良課が連携してスペシャリスト機能、コーディネート機能の早期向上に取り組む

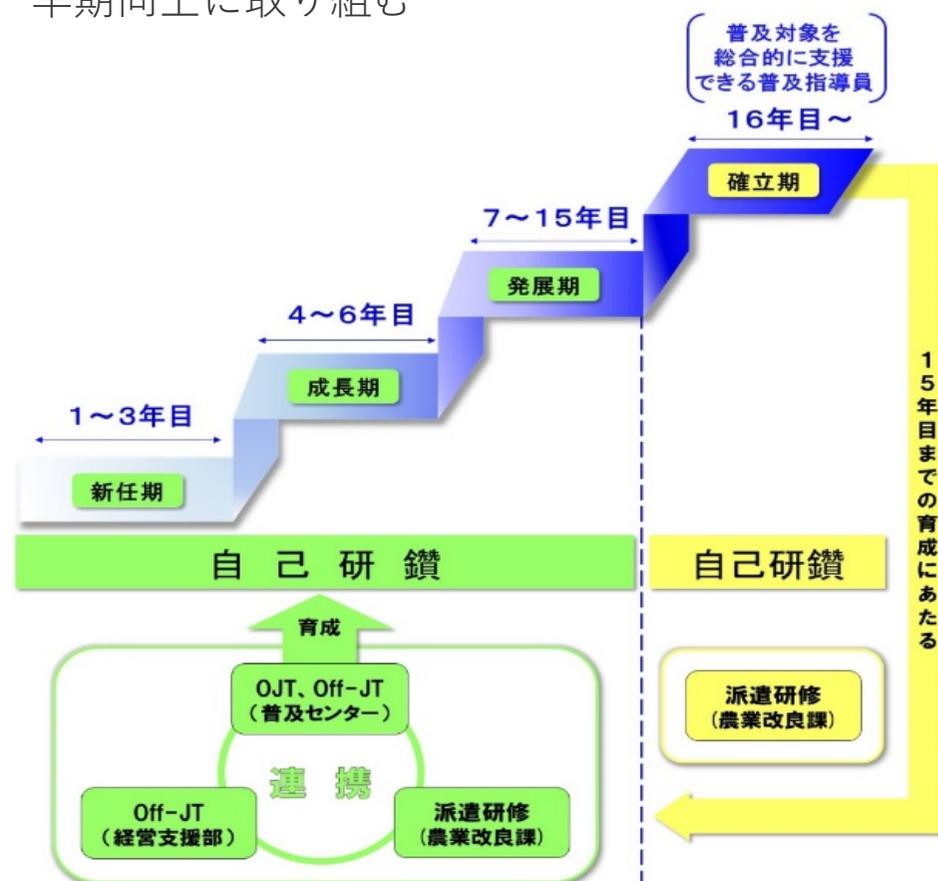


図 普及指導員育成イメージ

III 兵庫県における農業改良普及事業の推進

1 フードチェーンづくり

普及センターが、地域特産品に関わる**生産・加工・流通・販売・消費の関係者をコーディネート**して新たな**フードチェーンづくり**により農業者の所得向上や地域の活性化を進展

新温泉

地域で取り組む香住梨復活プロジェクト2030

生産者と観光事業者等が連携し、担い手の受入体制整備による「なしおとめ」の生産基盤強化と地域内消費の仕組みづくり

豊岡

若手がリードする豊岡の元気な農プロジェクト～地域が育て支える露地野菜を核とした生産・販売の仕組みづくり～

若手生産者グループを核に、労力補完システム構築やECサイトとの連携による販路開拓を進め、経営モデルを構築

朝来

岩津ねぎ+若い力=あさごパワー!～天空の城からの熱気みなぎる贈り物～

新規就農者の生産から販売までを総合的に支援する早期経営安定システムを構築し、加工業者との連携を強化

丹波

地域内連携Hyogo Sake85で経営安定+丹波ファン拡大

需要に応じた作付拡大を進め、観光と食や農が融合したツーリズムと新たなサービスの開発による仕組みづくり

加西

キラリと輝く北播磨～もち麦で地域を元気に!～

生産者の意欲向上による産地拡大と農商工連携で新たな需要創出を進める仕組みづくり

光都

特産品販売拠点「元氣工房さよう」を核とした新たなアグリビジネスの展開～佐用もち大豆を生かした佐用風土の創造～

大型直売所を核とした地産地消や交流の拠点づくりにより担い手の生産から販売までを支援する体制を構築

阪神

黒大豆枝豆を阪神地域の住民に親しまれる“ソウルフード”へ

保育園等と連携した食育活動や飲食店・福祉施設への消費拡大を図る仕組みづくり

神戸

都市近郊立地を活かした「北神」ブランドの生産拡大

「北神ブランド」を確立し、枝豆など複数の特産品を一体的に支援することで、生産強化と販売体制を構築

龍野

宍粟市北部地域の特産物の振興～小豆・黒大豆・西はりま山椒～

特産物の生産拡大を図り生産者と加工事業者などが地域で一体となってブランドを確立する仕組みづくり

姫路

地域サポーターづくりによる持続可能な農村の実現～有機農産物の販路拡大と担い手の育成支援～

地域のファン拡大・有機農産物の需要増加を図り、地域定着へ誘導することで持続可能な農村モデルを確立

加古川

地元産麦を活かした新たな生産・流通・消費ネットワークの構築

需要に即した品種導入と生産の安定化、有効利用を進めることで、消費拡大につなげる仕組みづくり

南淡路

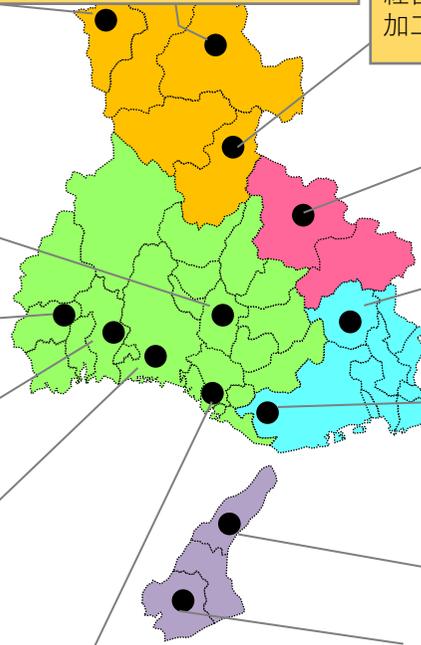
「淡路島たまねぎ」の多様な需要と供給の創造による産地活性化～「淡路島たまねぎ」の歴史と未来の融合～

伝統品種の導入等で付加価値を向上し、新たな生産販売の仕組みづくりで多様な需要と供給を創造

北淡路

淡路島たまねぎ生産拡大大作戦の推進

更なる高品質化による収益改善を目指し、実需者のニーズを踏まえて、農協や大規模経営体が連携することで、より強靱な生産体制を構築



Ⅲ 兵庫県における農業改良普及事業の推進

2 スマート農業関係

- ① ICTを活用した普及指導員の指導力向上
 - ・効率的、効果的な情報伝達のための **SNSの活用**
 - ・技術の理解を深めるため、**動画を活用**
 - ・**タブレット端末**により農業者に現地で詳細な資料を提示
- ② 各地域におけるスマート農業導入への対応
 - ・研究機関、市町、J A等の関係機関、民間企業等と連携し、**各地域に適した技術確立**によるスマート農業を拡大
 - ・事業活用や**共同利用体制**づくり、**農業支援サービス事業者の活用**などにより、コスト低減等を支援



タブレットを使って動画で作業方法について説明（豊岡普及）

3 有機農業関係(経営として成り立つ有機農業)

- ① 有機農業の担い手育成
 - ・新規就農者の研修受入先として、**有機農業親方農家を確保**
 - ・有機農業技術研修会の開催
- ② 有機農業者の販路拡大
 - ・**実需者とのマッチング**を推進
- ③ 有機J A S 認証取得を目指す農業者への支援
 - ・普及指導員の指導力向上のため、**有機J A S 認証制度に係る研修**を実施（R5年度：17名の普及指導員が受講）
 - ・慣行栽培から有機栽培への一部転換や有機J A S 認証取得を支援



有機農業就農ガイドブック

Ⅲ 兵庫県における農業改良普及事業の推進

4 担い手育成関係

① 地域ぐるみの新規就農者の育成・確保を支援

- ・市町、ＪＡ等と連携し、農地や資金、研修など就農希望者の幅広い相談に対応し、円滑な就農を支援
- ・就農前の技術習得や就農後の早期経営確立支援や研修会の開催

② 集落営農組織、認定農業者など担い手の技術・経営力の強化

- ・市町、ＪＡ等と連携した**地域計画**策定などによる集落営農組織化の支援
- ・経営指標に基づく経営改善、省力化等の指導による経営安定を支援
- ・地域リーダー（農業経営士等）と連携した農業後継者育成



集落で意見交換会を開催し地域の将来像を描けるよう支援（豊岡普及）

5 県立農業大学校関係

① 学生への支援

- ・実践重視の授業や実習、**県立農林水産技術総合センター(研究機関)**等で開発された**先端技術に触れる**機会の提供など、専門的な知識・技術が修得できる教育を実施
- ・**スマート農業**に関する**講義・研修**の実施や**施設・機械等の整備**を推進

② 就農希望者等への支援

- ・短期研修：野菜や水稲の栽培技術、土づくり等の基礎研修、経営や有機農業研修、先輩就農者の視察や経験談を交えた**就農事例研究研修**などを実施
- ・長期研修：施設(パイプハウス2棟/人)等を利用して**1年を通して栽培から販売**までの実践と経営、労務管理等を研修



長期研修生が先進農業者と情報交換